



火葬場・市営霊園新料金制度導入 に関する市民議論結果概要

札幌市保健福祉局 ウェルネス推進部施設管理課

1 市民議論実施概要

1. ご意見募集期間

令和6年6月1日～7月19日

2. ご意見募集方法・件数

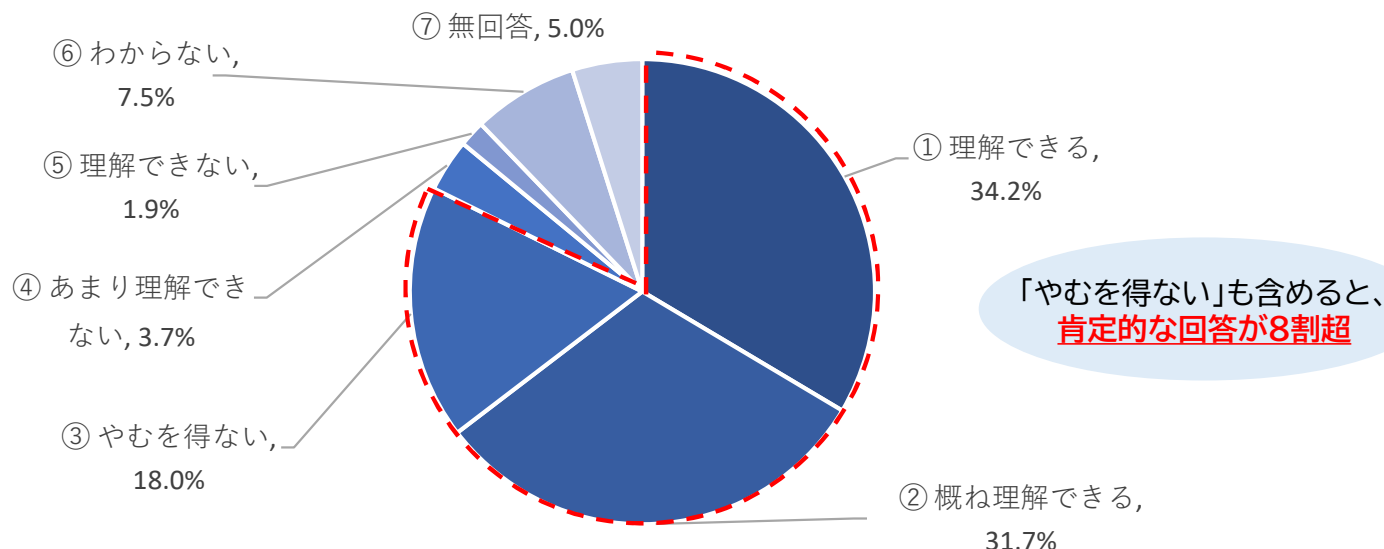
	アンケート 回答数	自由意見数
☐ 広報さっぽろ6月号・7月号による周知 ☐ ホームページへのご意見募集ページ・ご意見受付フォームの掲載 ☐ 郵送・FAX・Eメールによるご意見の受付		84件
☐ 市営霊園使用者意見交換会の開催(場所:エルプラザホール) 6月20日(木)14:00～15:30【参加者17人】 6月23日(日)10:00～11:30【参加者3人】		18件
☐ 葬送と終活を考えるシンポジウムの開催(場所:アスティホール) 7月6日(土)14:00～16:30【参加者118人】	99件	59件
☐ 葬送と終活を考えるパネル展の開催(場所:チ・カ・ホ 憩いの空間) 7月12日(金)10:00～19:00【来場者134人】 7月13日(土)10:00～17:00【来場者143人】	62件	15件
	総数 161件	総数 176件

2 寄せられたご意見の概要

1. 火葬場使用料に関するアンケート結果・ご意見

① シンポジウム・パネル展来場者アンケート結果

＜設問＞火葬場の現状と課題を踏まえた、新たな火葬料制度の考え方についてどう思いますか（n=161）



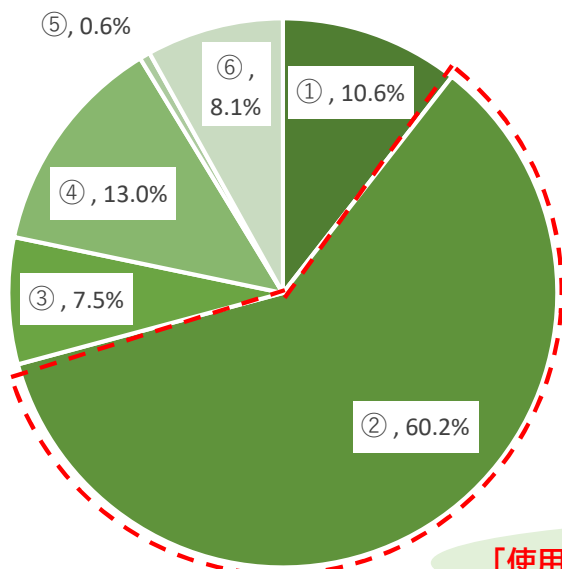
② 自由意見（抜粋）【合計 84件】

新料金制度の方向性	ご意見概要
料金水準（市民火葬料） ↓ ランニングコストの一部負担	- 安定した運営をする為にも火葬代を徴収するのは良い - 維持管理には多額の費用がかかる。控え室の使用が減っているなら火葬炉使用料を主とした料金体系にし将来に備えるべき - なぜ無料で無理してきたのか疑問 - 利用者が充分の負担をするのは当然。現在の当事者が負担をせず先送りし後世の若者世代になんでもつけ回すような風潮は改めるべき - ランニングコスト程度の利用者負担は仕方ない - 多死社会を向かえ仕方ないと思うが少しでも利用しやすい制度になるよう願う - 市民の火葬料が無料だと知らなかった。ある程度負担するのは理解できる - 長年納税してきた人への謝礼とすべき - 人の死に関する火葬についてまでお金を取るのはやめてほしい - 他都市と比較して公正な料金に - 火葬炉と控室トータルで現状の控室使用料とあまり変わらないようにすべき - 納税状況や棺のサイズに応じた負担はどうか
料金水準（控室料金） ↓ 市民のみ減額	- 家族のくつろぎとコミュニケーションのためにも減額して使いやすい料金に - 利用したい人が使用するものなので増額しても良い - 利用人数に応じた負担はどうか
料金水準（市民以外の料金） ↓ 人件費・物件費上昇分の反映	- 市外はもう少し下げてあげてもよい - 市民以外の控室使用は2～3倍徴収 - 市民以外は10倍の料金設定に
減免	- 負担は仕方ないが、生活が苦しい方への配慮は必要 - 市民税を納付歴がある人には減免制度を設けるべき。市民になった月日が長い人と短い人が同額はおかしい
その他	- サービス向上すべき（テナント、自販機など） - 駐車料金やロビー使用料等の導入 - ロビー混雑緩和のためにも物理的改善が必要

2. 市営霊園管理料に関するアンケート結果・ご意見

① シンポジウム・パネル展来場者アンケート結果

＜設問＞ 市営霊園の維持管理費用を今後どうしていくべきと思いますか（n=161）



- ①使用者（管理料等）が、維持管理費用を全額負担すべき
- ②使用者（管理料等）と札幌市（税金等）で、維持管理費用を負担すべき
- ③札幌市（税金等）が、維持管理費用を負担すべき
- ④わからない
- ⑤その他
- ⑥無回答

「使用者と札幌市で、維持管理費用を負担すべき」が6割

② 自由意見（抜粋）【合計 61件】

新料金制度の方向性	ご意見概要
料金水準 ↓ <u>計画改修を含めた費用</u> <u>現在の清掃手数料に物件費等の高騰分を反映</u>	- 管理する以上、徴収するのが適当。今後も維持していくために必要 - 管理料は当然。そうでなければ不公平 - 管理料を取らなくてもよくなるような方策を検討すべき - 新規使用者の使用料・管理料を値上げすべき - 清掃手数料は永代と聞いていた - 足りない分は負担するが公園の要素も考慮してほしい - 今後更なる値上げがないように。値上げのメリットあるとよい - 使用者が負担する割合を多くしていき、いずれは全額使用者負担とし、将来的には市営霊園をなくすべき
徴収頻度 ↓ <u>1年ごと</u>	- 時代のニーズに合わせて毎年の年払いはとてもよい - 毎年徴収はコストかかるのではないか 1年でもよいが、墓は長期にわたって使用するものなので3年あるいは5年払いなどの支払い方法も可能にしてほしい - 一括払いすると割引することは考えられないか
徴収単位 ↓ <u>区画単位</u>	- 区画単位を希望 - 区画単位とする場合は納得できる理由を示して欲しい。共用部分の管理費用だとしても、広い面積の使用者は高い費用が当然
許可取消に係る滞納年数 ↓ <u>3年程度</u>	- 滞納は2年や3年を目処に共同墓地に移って頂く 1年。猶予期間を長くすると、まじめに支払いしている人との不公平感が出るので、タイトにしてほしい
減免	- 低所得者になった場合、減額等で墓を残せるようにしてほしい - 一般料金と生活保護者等の料金に差を設けるのが良い - 減免制度はない方がいい。生活困窮者は、支払い猶予一年ほどにするか、相続を必須としてできないなら撤去
その他	- 無縁墓は整理して再公募 - 霊園の使用期間自体を限定して一括払い - 墓じまいを検討しやすく。市の補助で合同墓に合葬する方向で - 墓じまいにかかる費用の前納制度も検討してほしい - 新規使用時に、相続人以外の連絡先も複数徴取した方がよい

3. 料金制度以外のご意見（抜粋）【合計 50件】

<火葬場関係>

- ・ 里塚斎場は改修ではなく建替を進めるべき
- ・ 札幌市民の火葬を優先すべき（市民以外は午後にするなど）
- ・ 火葬場増設には反対
- ・ 火葬場を増やしてほしい
- ・ 友引休みはやめるべき
- ・ 控室は小さい部屋を設けて利用しやすくしてほしい

<その他>

- ・ 多死社会への準備が必要
- ・ 火葬料制度、市営霊園制度をもっと広く広報したらよい
- ・ 葬送や終活について広報・イベント等でとりあげてほしい
- ・ 死後事務委任を行う業者について、国や市でチェックする制度が必要

<墓地関係>

- ・ 合葬墓を作っていただきたい
- ・ 無縁墓を空き区画にするべく対策と実行が急務
- ・ 少しグレードアップした合葬墓であれば利用したい
- ・ 今までであるような墓地とは全く別の、樹木葬のような場所があったらよい
- ・ 市営霊園や合葬墓に関する札幌市の今後の取組について情報提供してほしい
- ・ 市民以外の申請者も札幌市の合葬墓を使えるようにしてほしい
- ・ 無縁墓対策としてマイナンバーと紐づけてはどうか

【参考】 市民議論実施の様子

◀ 広報さっぽろ 6 月号

皆さんに知ってほしい
重要な話題をお届けします

火葬場と市営霊園の料金制度の見直しを検討します

市が運営する火葬場と霊園は、今後の施設の老朽化や亡くなる方の増加などに対応するために、施設や運営方法の改善に取り組んでいます。今後も持続的な運営を行うために、皆さんのご意見を聞きながら、費用負担のあり方や維持管理の方法などを検討していきます。

火葬場の主な現状と検討内容

【現状】

- 市民の火葬料は無料。特別控室の使用料（1室23,000円）と市税などで運営
- ▶ 葬儀の少人数化などで特別控室利用率が低下。火葬件数増加により待合ロビーも混雑
- 維持管理費が高額なことに加え、今後の施設老朽化や火葬件数増加に対応する整備も必要

【検討内容】

- 市民の火葬料使用料の負担を検討
- ▶ 適切な収支に改善し、将来も火葬場を安定的に運営
- 特別控室の使用料の減額を検討
- ▶ 控室を利用しやすくして、ロビーの混雑緩和につなげる。待ち時間を短縮化

市営霊園の主な現状と検討内容

【現状】

- 霊園の使用開始時に一括徴収した、使用料と20年分の清掃手数料を組み立てた基金を使って霊園を管理
- ▶ 老朽化による維持管理費の増加などの影響もあり、基金の取り崩しが進んでいる
- 使用者と連絡が取れず、手入れされていない無縁墓が増加

【検討内容】

- 清掃手数料を管理料に変更し、使用開始後20年以上経過した使用者からも徴収を検討
- ▶ 適切な収支に改善し、計画的に霊園内の修繕や改修などを行う
- 管理料を年払いにすることを検討
- ▶ 使用者とのつながりを保ち、無縁墓を増やさない

市営霊園使用者意見交換会

市営霊園の現状と課題や、今後の方向性について参加者と意見を交換します。

日時 6/20(土)14時～15時30分
23日(月)11時30分～12時30分
会場 エルプラザ（札幌市東区南一条3-3）
対象 市営霊園の利用者各300人
申込 当日会場へ直接、先着

申し込み
火葬場と霊園の運営のあり方、葬送や終活に関する検討や検討の進捗を共有していただきます。

ご意見をお寄せください
幅広い年代の方からご意見をいただき、検討を進めていきます。

意見提出 郵送、ファクス、Eメール、ホームページ、7/19(金)19時～21時（当日は21時～22時）まで
〒060-0002 中央区北2西1 ORE、市営霊園後援管理課へ

検討状況は、今後も本誌やホームページなどでお知らせしていきます。

2024.6 | 広報さっぽろ 10



▲ 市営霊園使用者意見交換会



◀ シンポジウム

▼ パネル展



▲ 広報さっぽろ 7 月号

皆さんに知ってほしい
重要な話題をお届けします

火葬場と市営3霊園の料金制度への意見を募集

火葬場¹⁾と市営霊園²⁾の持続的な運営のために、皆さんのご意見を聞きながら、費用負担のあり方や維持管理の方法などを検討します。

※1 市営霊園（札幌市東区南一条3-3）※2 市営霊園（札幌市東区南一条3-3）

火葬場の主な検討状況

市民の火葬料使用料（現在は無料）の負担と、特別控室使用料（現在は1室23,000円）の減額を検討

▶ 他府県指定都市の状況や皆さんのご意見を踏まえて制度を検討

（参考）他の府県指定都市の使用料（市税）
火葬料：5,000円～20,000円
特別控室：3,000円～6,000円 ※料金に差額がある場合があります

市営霊園の主な検討状況

現在は20年分一括払いの清掃手数料を、年払いの管理料に変更し、使用開始後20年以上経過した使用者からも徴収することを検討

▶ 現在の清掃手数料や光熱・人件費などの高騰分、皆さんのご意見を踏まえて制度を検討

（参考）20年分一括払いの清掃手数料を1年換算にした金額
5,160円（4月）～20,640円（16月）

市営霊園使用者意見交換会

市営霊園の現状と課題や、今後の方向性について参加者と意見を交換します。

日時 7/12(土)10時～19時、13日(日)10時～17時
会場 駅前通地下歩行空間（チ・カ・ホ）地下1階の交流広場

申し込み
火葬場と霊園の運営のあり方、葬送や終活に関する検討や検討の進捗を共有していただきます。

ご意見をお寄せください
幅広い年代の方からご意見をいただき、検討を進めていきます。本誌パネル展に設置する意見箱にも意見をお寄せいただけます。

意見提出 郵送、ファクス、Eメール、ホームページ、7/19(金)19時～21時（当日は21時～22時）まで
〒060-0002 中央区北2西1 ORE、市営霊園後援管理課へ

検討状況は、今後も本誌やホームページなどでお知らせしていきます。